

自主
錬磨
協調

灯台



学校再編の情報：市教育委員会・里中校区・上甕中校区の合意 6/10

本校は、生徒数 12 名、職員数 8 名（常勤）の複式学級です。現在、職員が一丸となり、学力向上・人間力の育成・健康と体力の向上・ふるさとへの思い・独り立ちに向けた生活面と精神的な自立の育成に向け、努力していますが、現況の体制にはかなり無理が生じています。また、将来の生徒数増加が厳しい中、大切な中学生時期をよりよい教育環境の中で学ばせたいという思いが強く、平成 30 年 5 月からの話し合い等の結果、関係者によって下記の 3 点が確認しました。

- 1 上甕中学校の生徒は、令和 2 年 4 月より里中に通学する。
- 2 上甕中学校は、令和 2 年 4 月より当面の間、休校とする。
- 3 その間、学校再編協議会を組織し、里中・上甕中の統合に向けた協議や調整を行う。

本校区の学校再編協議会員：6 月末に決定し、市教委へ提出

本校区の学校再編協議会員を御紹介します。今後、上甕中生徒と中津小児童の健全育成に向け、尽力いただく方々です。

石原昭憲さん	梶原孝信さん	中間義也さん	石原知明さん
西 晃さん	蔵元保海さん	南 精治さん	山下健蔵さん
長濱秀徳さん	馬場正弘さん	辻 孝義さん	湊 俊一さん
鬼塚富貴子	小山田和良	*本年度 14 名、次年度 12 名	

学校再編について生徒への説明：7/1

全校朝会を活用して、校長より説明。また、1 校時の創意を活用して、全生徒による意見交換・心情把握に努めました。

*生徒の反応は、全体的に前向きでした。現実をしっかり受け止め、一人一人が上甕中学校への熱い思いと次年度からの課題に真剣に考え、アンケートに記入していました。アンケート結果については、7/12 の全体会で保護者に配布してあります。学校では、限られた時間の中で、生徒の思いに応えられる活動ができるよう調整していきます。どうぞ、諸活動の際は、御理解と御協力をお願いします。

(本年度上甕中でやりたい事)	(里中学校での課題など)
学校行事での思い出づくり (幼小中合同大運動会、文化祭)	学習面（授業・テスト傾向）と生活面（校則・友人）への不安
「海風」による地域への感謝の表明（特別号、使用済み切手収集等）	部活動（卓球部）継続 部活動遠征の回数など
学校内外への清掃活動	通学方法（生活リズムの習慣）

命を守る。：水難事故防止訓練 6/17

講師に、B&G 管理員の梶原健太さんをお招きしました。学習は、命を守るための講話と実技体験学習でしたが、大田の浜海水浴場での着衣水泳を通して、生徒達は次のことを学ぶことができました。

- 海岸では、特に離岸流による水難事故が多いこと。（水の流れを知る）
- 海岸での危険場所を把握し、絶対近づかないこと。（ルールを守る）
- 海岸での単独行動はしないこと。また、事故発生に遭遇した場合は、大きな声で助けを求めること。（とっさの行動：勇気）



命を守る。：命の授業 6/28

講師に、NPO 法人がんサポートかごしまの理事長である三好綾先生をお招きしました。三好先生の実体験を踏まえた講話に生徒一人一人が真剣に耳を傾けていました。生徒の感想を一部御紹介します。

- 私は、たったひとつしかない命を最後まで大切に、自分のできることを最後までしようと思いました。
- 改めて命の大切を考えなおすことができました。貴重な講話ありがとうございました。



学校だより 7 月号

令 年 元 年 7 月 1 9 日 発 行
〒896-1201 薩摩川内市上甕町中甕 191-1

薩 摩 川 内 市 立 上 甕 中 学 校
TEL:09969-2-0014 FAX:09969-2-0041



小規模校だからこそできる貴重な体験

校長 鬼塚富貴子

7 月 12 日（金）、校内弁論大会を実施しました。目的は、人前で自分の考え（興味・関心・希望）を自分の言葉（語句の選定）で話す（表現力、伝え方）ことができるようになることです。そこで、生徒に題名を考えさせ、文字に起こし発表できる一連の過程を国語科の西教諭で担当し、生徒の個性を尊重しながらの指導・支援に努めてきました。

平成 29 年度のことです。当時の弁論大会への取組（興味や関心事、ふるさと甕島への将来像など真剣に取り組んでいる姿）に感動し、本番が楽しみでしかたありませんでした。しかし、本番では、正直生徒の良さが伝わりませんでした。理由は、生徒の緊張でした。声が小さく、言葉が聞き取れない。よくよく考えると、体育館舞台での発表は、大人であっても緊張します。時には、早口になり、言葉を噛むこともあります。しかし、それらを分かった上で、この貴重な体験を通して、生徒達に度胸を身に付けさせたいと考え、この思いを職員へ伝えました。そして、平成 30 年度の校内弁論大会は、保護者と学校運営協議会員へ呼びかけ、本年度は、更に民生委員と地域の方々にも呼びかけました。おかげさまで平成 29 年度と比較し約 4 倍の参観者になりました。参観いただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

成果：生徒全員が、人前で発表できたこと。（貴重な体験）
課題：声量と表現力の向上。（もったいない。まだやれます。）

「生徒が元気！先生が元気！保護者が、地域が元気！上中から元気を発信！」上甌中学校キャッチフレーズ

指導力の向上に向けて：中学校数学科研究授業 6/19

小中一貫教育での共通実践事項を踏まえ、本年度第 1 回目の研究授業を行いました。講師には、里小学校の榎元寛之校長先生をお招きしました。数学科担当の瀬戸口教諭は、小学校算数担当の西教諭と事前に授業交流を図りながら、当日の学習活動に繋げていました。研究授業後は、小中職員による授業づくりに関する意見交換を行い、小中各学校で児童生徒に身に付けさせたい単元等の力を確認できました。今後の教科指導に生かされることを期待します。



多様な考え方の育成に向けて：小中授業交流(道徳) 6/24

本校では、本年度より、特別な教科「道徳」の授業者を、各担任から、担任・副担任が全学年をローテーションで受けもつ授業スタイルに変更しました。年間 35 時間の学習内容を教諭で分担し、授業を行います。また、まとめとして授業の最初と最後の変容等を記録し道徳コーナーに掲示してあります。御来校の際は、ぜひ校舎 2 階の掲示板をご覧ください。



幼小中親子レクレーションで親力発揮：6/30

当日は、母親中心のカレーづくりと父親中心の会場設営の係分担で 100 点満点！の親子レクレーションとなりました。食事をともにしながら、現中学生の小学校時代の映像に歓喜の声も上がり、子どもの成長の早さを痛感した親御さんもいたようです。この活動を企画された幼小中 P T A 役員の皆様と活動に賛同し、共に活動された保護者の皆様方に心より感謝申し上げます。当日の様子を一部、御紹介します。



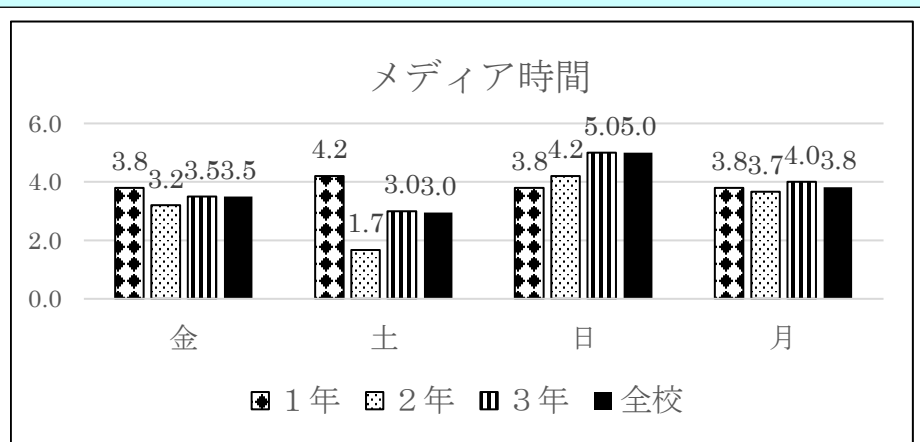
園児・児童・生徒・大人の笑顔が最高！

幸福のひとときに感謝！

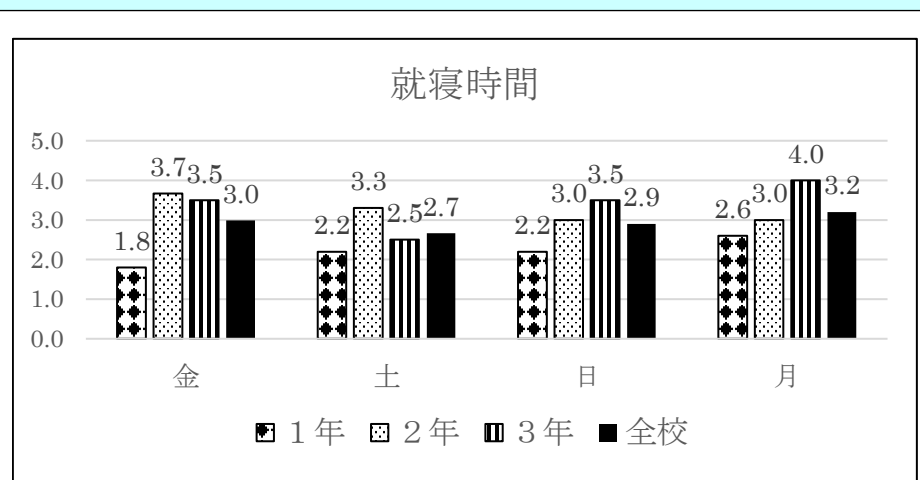
夏季休業中の過ごし方：基本的な生活習慣を御家庭で確実に！

小中一貫教育の取組として、各家庭で生活リズムしらべに 4 日間、取り組んでいただきました。集計結果は以下の通りです。ぜひ、夏季休業中に課題への対策に取り組んでいただきたいと思います。夏季休業中の家庭での過ごし方は、2 学期の学校生活に大きく影響することを御理解の上、御協力ください。

標記の見方 (1：身に付いていない 3：まあまあ身に付いている 5：身に付いている)



〔考察〕特に 2 年生は土曜日の時間が長いようです。メディアに関する家族目標の再確認をお願いします。また、日曜のメディア時間は全学年良好です。



〔考察〕1 年生の睡眠時間がとても気になります。自立起床を含め、再度家庭でのルールの確認をお願いします。登校から、表情が優れない様子も見られます。睡眠時間の確保は大切です。

泳力アップ：水泳大会 7/9

里中学校では、毎年遠泳大会を実施しています。そこで、本校では、200M泳ぎの練習を取り入れました。まさに教科担任(教頭)の思いです。大会当日、25M×8の200Mを自分のペースで泳ぐ生徒達。懸命に泳ぐ姿に頼もしさを感じることができました。また、水球競技では、3年担任(富山)もプールの中に入り、生徒とともに楽しむ姿に生徒も大喜びでした。



表彰紹介：可能性への挑戦に拍手

- 英検 3 級合格 (中学卒業程度)
3 年：西 愛麗さん・濱邊香乃さん
- 防犯標語 (県銅賞)：賞状は後日配布
2 年：脇田 紗羽さん

8 月の行事予定

- 1 日 (木) 出校日 (通常登校)
- 21 日 (水) 出校日 (通常登校)

その他

○夏季休業中の部活動練習については、顧問と育成会で確認し、行きすぎた練習にならないようにしてください。また、部活動週 2 日休養は確実に守ってください。

(練習時間の確認、熱中症対策)

○夏季休業中の幼小中合同大運動会応援練習については、事前に職員と生徒で計画を立て、無理のない範囲で行いますので御理解ください。

○夏季休業中に、上甌中学校に来校されたい方がいらっしゃいましたら、いつでも歓迎いたします。〔卒業生、地域住民など〕